



えさし

おむすび



自治労江差町職労青年女性部
16年度教宣紙 No.3 16. 02. 15

発行 自治労江差町職労青年女性部

自治労北海道本部青年部春闘討論集会

(参加者・報告：川村奈津希)

2015年12月19日（土）、20日（日）に、札幌市自治労会館で開催された“道本部青年部春闘討論集会”に参加してきました。

初日は賃金に関する講演と、本部青年部および道本部青年部の春闘方針提起を受け、その後分散会が行われました。私の参加した分散会は7人(7単組)構成で、全員から時間外勤務やメンタルヘルスについての悩みが出され、それに対して自分の単組で行っている活動を紹介しあうなど、短い時間の中ではありましたがあれども少しでも解決の糸口を探そうと議論しあいました。解決にまでは至ることはできませんでしたが、今回の分散会の中で知った他単組の活動を自分の単組でもやってみたいという参加者もあり、また参考になる活動も知ることができ、有意義な時間が過ごせたよう思います。

2日目は初日の分散会報告、全体討論(16 地本・単組より発言あり)、斎藤青年部長による全体集約後、集会決議と集会宣言がされ、団結ガンバローで閉会しました。

時間外手当の
ためだけじやない

～ゆずれない “結” 意～

今回の集会の中で行われた講演「公務員労働者の賃金闘争」で時間外労働について、「時間外勤務命令もないのに職場にいると、法的な保障は一切されない」という話がありました。つまり、何も言わず残って仕事をしていたら、その間に災害に見舞われたとしても公務災害で補償されないということです。

この話を聞き、私たちがこれまで取り組んできた「ゆずれない“結”意」の取り組みが、いかに重要であるかを再認識することができました。

時間外手当の完全支給はもちろんですが、それ以外にも重要な意味を持っている「ゆずれない“結”意」に改めて取り組んでみませんか？

宅配オニ配達しました！

育児サポートサークルキティとディサービスまるやま、あすなろ幼稚園から宅配オーナーの依頼を受け、2月1日(月)と3日(水)に赤オーナーと青オーナーを派遣しました。

1日（月）の育児サポートサークルキティ、ディサービスまるやまへは木下、澤谷組合員が派遣されました。キティでは、教室に入った瞬間はびっくりして茫然としていた子ども達でしたが、豆まきが始まると近づいてくるオニに恐怖を感じたのか泣き出す子が続出しました。最後に「お母さんの言うことを聞かないとまた来るぞ」と伝え、一仕事終えたオニ達は会場を後にしました。まるやまでは、当然ながら泣く方はおらず、ほのぼのとした宅配オニになりました。



あすなろ幼稚園の様子



育児サポートサークル「ティの様子」

3日（水）のあすなろ幼稚園へは金田、小山内組合員が派遣されました。子どもたちは突然のオニの登場にも負けずに豆をぶつけていましたが、中には泣きながら一粒一粒豆を投げる子もいました。豆まきが終わると恒例のインタビューコーナーが始まり、「オニは何人家族ですか?」「裸足で大丈夫なんですか?」という質問に対してオニは「お父さん、お母さん、子ども3人と暮らしている」「オニは強いから雪の上でも裸足で歩ける」と回答していました。最後はみんなで記念撮影をし、オニたちは子どもたちに手を振りながら和やかに去って行きました。

第35回女性交流集会および2016年度女性政治学習会参加報告

1月23日(土)～1月24日(日)にかけて上記集会が札幌自治労会館にて開催されました。

1月23日(土)の女性交流集会では74単組総支部より140人の参加があり、はじめに北海学園大学教授の中園さんを講師に迎え、「ひとごとではない！貧困問題～なぜ女性の賃金は低いのか」と題し、「多くの女性が正職員として働けない原因は長時間労働にある。家事・育児・介護をしながらでも女性が正社員として働ける働き方の仕組みを、女性自身が提唱していくなければならない。そのためにも上位職に挑戦していく女性を育てる環境を皆さんを作つていてほしい」とご講演いただきました。続いてオキナワ平和の旅参加報告・分散会の後、えさきたかし参議院議員と徳永エリ参議院議員が来場し、えさき氏は、安保法制・防衛装備庁新設、アベノミクスの金融緩和、地方交付税のトップランナー方式等の問題に触れ「日本はたった一人の総理大臣が作ったきわめて奇妙な流れの中を突き進んでいる。7月の参議院選において政治情勢の転換をしなければ我々に未来は来ない。みなさんから頂いた何十万もの矢を持って、もう一度国会に挑み、そのうちの一本でもきっちりと総理や資本原理主義者たちに射こみたい。」と参議院選に向けての決意をお話しいただきました。徳永氏は、TPP導入による食料自給率の低下や安保法制について警鐘を鳴らし、「4月の5区補選と7月の参議院選は、私たちの暮らしと命と平和を次世代につなげていくための選挙だと受け止めてほしい」とご挨拶いただきました。



なかの
中園 講師

最後に、上島女性部長より「今年4月から各自治体で女性活躍推進法に基づいて事業主行動計画を作成し実施していかなければならないが、そこに女性部として女性の声をしっかりと反映させてほしい。」と、女性活躍推進法について触れ、女性交流集会は終了しました。

1月24日(日)の女性政治学習会は、65単組116人の参加がありました。まず、前札幌市長である上田文雄弁護士より「いま憲法が危ない」と題し、「憲法は権力者を縛るものであって、縛られる側（＝政府）が縄を緩めることは許されない。『国民も憲法を尊重しなければならない』と謳っている自民党憲法改正草案は憲法の概念から全く外れている。人類の多年にわたる自由獲得の成果である日本国憲法を国民が政府から取り戻す時に来ている」と講演がありました。次に、4月にある衆院北海道5区補欠選挙で推薦が決定した池田真紀候補予定者のあいさつと、あいはらくみこ参議院議員による国政報告がありました。最後に、上島女性部長から「憲法改正とともに動きは、私たちを『戦争のできる国家を支えるための国民』にしようとしている。重要な選挙が続くが、『組合で決められているから』投票するのではなく、自分や家族の為に取り組んでほしい」とまとめがあった後、団結ガンバローで学習会を締めくくりました。

(参加・報告 :



えさきたかし議員



徳永エリ議員



池田真紀候補予定者



あいはらくみこ議員



春の文化体育事業緊急アンケートを実施します！

このたび、青年女性部では4月に行う予定の文体事業についての緊急アンケートを実施します！昨年度はリフレッシュ事業として保健センターにて自宅で簡単に出来るエクササイズと筋力トレーニングを行いました。「こんな企画があったらいいなあ～」「あんな場所に行きたいなあ～」etc、皆様からいただいた貴重なご意見をもとに楽しい事業を企画していきたいと思います！！

別紙のアンケート用紙にて、回答いただきましだらお近くの文化体育部(深見(崇)・竹内(祥)・木下・奈良)まで提出下さい！お忙しいとは思いますが、ぜひご協力ください。

たくさんのご要望お待ちしてま～す！！

提出期限は 2月24日(水)です！！ よろしくお願いします！！